

吉備 学区連合町内会かわら版

2008年度版
岡山市吉備学区
連合町内会
広報紙



第4回吉備・陵南まちかど博物館(2008年11月2日)



JR庭瀬駅南口オープン(2008年12月13日)

庭瀬駅南口オープン

庭瀬駅南口は地域住民の長年の願いで、これまでも地元町内会による努力が続けられていました。そして平成18年、近隣11町内会長および連合町内会長連名で岡山市長に要望書を提出。当地域の熱意を受けて、市はJR西日本と協議を進め、平成20年12月ついに実現の運びとなりました。

第4回吉備・陵南まちかど博物館 写真上

当地域は、犬養木堂、大賀一郎をはじめ多くの偉人を生み、また江戸時代に栄えた庭瀬城、撫川城の陣屋を中心とした庭瀬往来にまだ古民家が残っています。一方温暖な気候と肥沃な土地に恵まれ昭和30年代までは米、麦、い草を中心とした農業が盛んでしたが、昭和40年代半ばより農地の宅地化により、ここ40年で約4倍に人口が増えています。高齢化家庭が多い地域とU・Iターンによる新住民の多く住む地域との意識の差が拡がり、新旧住民間のコミュニケーション不足が懸念されていました。

まちかど博物館は、吉備・陵南の両学区連合町内会と岡山市の後援で、企画・運営は公募による実行委員会方式で、平成17年度から始まりました。地域住民がふるさとに誇りを持つ地域づくりを目指すと共に、新旧住民の親睦を図る地域おこしをテーマとしています。また地域ゆかりの伝統工芸品(撫川うちわ)、偉人の資料、古民具、古い農機具の展示、庭瀬・撫川城址関連の資料の公開展示やお休み処を設けて、地域内各所で毎年秋に開催しています。

平成20年度の「第4回吉備・陵南まちかど博物館」は、中国学園大学・短期大学の協賛を得て、11月1日(土)夕方の手づくりの行燈によるライトアップから始まり、翌日のイベント本番の実施となりました。

実施に当たり、総勢800人以上の地域ボランティア(学生含む)や他地域からの協力を得て、クラシックカーミーティングやアフリカの楽



歴史ギャラリー歩道(庭瀬・撫川地区まちづくり交付金事業)

歴史ギャラリー歩道

岡山市による「まちづくり交付金事業」は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を活かした、地域主導の個性あふれるまちづくりのための事業。当地区も「庭瀬歴史の原風景創生地区」として認定され、庭瀬港の常夜灯の復元、庭瀬城址前の整備、撫川城址前広場の整備、観音院前から住吉神社にかけての歴史ギャラリー、大橋の常夜灯の復元、街角の立て看板、道路の石畳風舗装、街灯のカバーなど、かつての陣屋町の風情を思い起こさせるような整備が次々と実施されました。【まちづくり協議会 高橋浩郎】



器演奏、写真・絵画展、川舟遊びなどの新しいイベントも登場。巡回バスの運行も行い、他県からの参加者も暖かくお迎えすることが出来ました。各会場とも人通りが絶えることなく、来場者は前夜祭始めて前年度のほぼ倍の約27000人でした。特に当地域の歴史的資料、地域の地理の講話、ヘリコプターによるふるさと探索飛行は、地域を再発見できたこと好評でした。年末の吉備公民館でのイベント当日の写真展・ビデオ展などはイベント当日に見学出来なかった人達にも鑑賞していただき好評でした。【まちかど博物館担当理事 曾我博之】



吉備まちづくり研究会主催講演「撫川陣屋ものがたり」

吉備まちづくり研究会

地域内の歴史・文化的遺産をもっと知りたいという要望が多く寄せられています。そこで有志による実行委員会方式で「まちづくり研究会」を立ち上げ、日本財団から助成を得て、地域内外の方々に「公開講座」全7回を開催いたしました。

講座には多数の出席者でたいへん盛り上がりしました。地域に残る歴史・文化を共に学び、正しく後世に伝えて行くことができ、この講座を通じて、新しい住民になった人々を含めて、さまざまな年代、職業を巻き込んだ新しい地域づくりの1つの方向性を示すことが出来ました。この地域にしかない、「魅力的な生き方や物の考え方」「暮らしと文化」「歴史の美しさ、楽しさ」「住んでよし、訪れてよし」の文化力の向上をめざした1年でした。

全講座のDVDと散策マップ「歴史と文化の散歩道」を作成しました。マップは吉備公民館に常備しています。(無料)

【吉備まちづくり研究会担当理事 曾我秀子】



吉備学区のすがた (平成21年3月末)

人口	総人口16,338人(男7,815人・女8,523人)
世帯数	6,454世帯

吉備学区内にある50単位町内会(50音順)

大内田	定杭	庭瀬駅前通
大橋	高田	納所
大橋中ノ町	邸内	延友
川入	中島	半役
川入吉備団地	中田	ハーモニ一川入
観音堂	中撫川	東平野
北庭瀬	中撫川団地	東平野南
吉備宿舎	長野	東山
クロバナ台	撫川住吉	福井
興人住宅	撫川西王子	福富
小西	撫川ハイツ	平和台
小松花	撫川若葉	ベルブール川入団地
栄町	西中撫川団地	本町
栄町北	西庭瀬	前川
サンステージ庭瀬	西平野	三谷
下東城之内	西平和台	若草町
ジュピア庭瀬	西向	

観蓮祭

邸内町内会・吉備学区連合町内会共催で毎年開催されています。20年度観蓮祭(7月20日午前6時～11時)は、昨年に増して盛大に行われました。イベントとして甘酒の接待・野菜市・植木市・オカリナの演奏・ハスの葉で行われる荷葉杯・象鼻杯等々、早朝にも関わらず、多数の方が観に来られました。

今年度は例年になく、半月ほど前から十日後頃まで多くの花が咲きました。今年度観賞に来られてない方、来年度は家族では是非観に来られては如何でしょう。平日でも…ただしハスの花は午前6時から10時ごろまでが開花されている時間帯ですので御注意下さいね。

【庭瀬地区長 熊代 勉】



大賀ハスは、千葉県内の古代遺跡で約2千年前の地層からハスの実が見つかり、郷土(岡山市)出身の故大賀一郎氏が発芽に成功させたことから、大賀ハスと呼ばれています。平成9年5月、この庭瀬城跡内家の一室を移植したものです。邸内町内会皆様のご努力で、毎年観蓮祭が開催されています。



川入にある大賀家墓所・顕彰碑

無料法律相談・講演会

無料法律相談では「岡山まで出て行くのは大変、こんな近くでやっていただけて助かりました」との感謝の言葉も頂きました。講演会にも予想以上の方が参加してくださいました。木元前会長が地域のためになることをやろうとの趣旨に賛同した一人です。この一年間微力ではございますが私なりにやってみようと思ってきました。最後に会報が発行できたことを嬉しく思っております。今後とも吉備連合町内会を宜しくお願いたします。【会報・講演・法律相談担当理事 求川 貞喜】

ボランティア活動

吉備学区内では、多くの方が明るく元気で安心安全な住みよいまちづくりを目指して、日々ボランティア活動に熱心に取り組んでおられます。これからも活動がより活性化するように、各関係機関や組織と連携を図りながら、①情報交換会 ②養成講座等による人材育成 ③ボランティア銀行の開設(災害時・平時を問わず利用可能)の実現に努力したいと思います。【ボランティア担当理事 重歳 妙】

防犯・防災

私たちが暮らしている吉備の町は、世帯数約6400戸、人口約16,000人の地域で、旧岡山市内では6番目の人口を抱える学区です。平成21年1～3月期の犯罪発生件数は、対前年同時期に対し増加傾向にあります(県警発表)。当学区では、県警鑑識課と共同の防犯活動の一環として、「わんわんパトロール隊」を発足して防犯パトロールを実施、隊員も随時募集中です。さらに岡山県づくり県民会議への登録及び岡山市から防犯活動の委嘱を受けております。

また当学区は、岡山平野の西端に位置しますが、岡山平野の地震に対するゆれやすさの評価は、全国的に見ても非常にゆれやすい地域に当たります。昨今懸念されている東南海・南海地震の発生確率は、30年以内に50%以上の確率で発生すると予測されていて、その際の震度は5弱～5強との事です。加えてこの地域は液状化も発生しやすい地盤条件で、地震に備える必要が有ります。また地球温暖化に伴う集中豪雨に対しての備えも必要です。

昨年は、吉備公民館と協賛で防災講座を開催しましたが、今後も防犯活動及び、防災(減災)活動を行って行きたいと思っております。【防犯・防災担当 西村 輝】

吉備学区並びに「政令指定都市・岡山」の発展を願って

岡山市長 高谷 茂男



吉備学区の皆様には、平素より市政各般にわたりご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。吉備学区には、庭瀬城跡、撫川城跡が残り、犬養木堂翁という偉人を輩出されるなど歴史、文化に恵まれた土地柄で、近年は交通利便性が格段に向上し、人口も増加しているところであります。

さて、この吉備学区の安全・安心や活性化に、6年間にわたって多大なご貢献をいただいている木元会長がこのたびご退任されると伺いました。会長が尽力された「吉備・陸南まちかど博物館」は、3万人近くの集客を上げ、地域の再発見や情報発信はもちろん、地域の皆さん同士の絆も深める秋のイベントです。また、昨年末に整備を完了いたしましたJR庭瀬駅南口のオープンも、会長を中心とする地域の皆様の取組の成果の一つであります。

一方、木元会長には、様々な立場から市政にご協力いただいております。春・秋の市役所ロビーで開催される岡山ばら会のおばら展におきましては、いつもすばらしい展示をされ、多くの市民の皆さんの楽しみとなっているところであります。また、平成19年には本市の行財政改革の取組の一つである事業仕分けに市民評価者としてご参加いただきました。

本市はこの4月に念願の政令指定都市に移行いたしました。移行後には、拠点性などの比較優位性や地域それぞれの伝統といった本市の特長をいかし、市民、企業の皆様と一丸となったまちづくりを進め、他のどこにもない、岡山らしい政令指定都市を実現させていきたいと思います。

木元会長には、これからご自身の多才をいかして各方面でのご活動を予定されているのであります。どうぞ、町内会長というお立場を離れられても、ますますお元気で活躍いただき、幅広い観点から吉備学区並びに「政令指定都市・岡山」のまちづくり、魅力づくりにご支援をいただきますようお願い申し上げます。

また、吉備学区の皆様には、力を合わせてひらけゆくこの地域をさらに盛り上げていただき、ひいては岡山市全体の活力増進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りいたしますとともに、吉備学区並びに岡山市の今後一層の発展を願い、ごあいさついたします。

辞任にあたって...

吉備学区連合町内会長 木元 淳介



私は平成15年、60才の時、自治会館建設と言う難題を抱えた西向町内会長をお引き受けし、同時に吉備学区連合町内会・理事に就任、16年副会長、17年に役員諸氏のご推挙から会長、同時に岡山市連合町内会理事に就任致しました。

私は35才の誕生日に、50才現役引退と言う人生最大の目標を立て、やがてその時が訪れ夢は叶いました。以後は大好きな「バラ栽培」、「陶芸」、「写真」、「海外旅行(主にヨーロッパ方面)」、高校時代から慣れ親しんだ「ジャズ」に明け暮れていました。

会長就任当初は西向の自治会館が竣工するのを見届けた時期を目安に、連長はもとより地域のお世話事から一切引退をするつもりでした。平成19年夏には自治会館も竣工し、連合町内会の積年の難題も改善の兆しが見えてきた時期、又新たに「区割り問題」が発生し、辞めるに辞められない雰囲気になりました。

連長になって何を為したかは、為したが故に傷ついた方、既得権益を脅かされた方も居られると思いますので、あえてその事には触れませんが、岡山市連合町内会の常任理事のポストに辞表を叩き付け、地域の方々のご理解とご支援で岡山市連合町内会を脱会してまで勝ち取った「南区」原案から「北区」に変更させた事だけは、私の誇りとする所です。やがてこの北区はもう一度二つに分かれる事になるでしょう。10年、20年後には私が周囲から集中砲火を浴びながらも、あえて北区に拘った事が吉備地域住民の方々から評価を頂ける事と自負しています。

話は飛びますが、私の趣味の世界も平成13年の春、高島屋創業170周年記念事業の一環として、高島屋・岡本店8F催し会場に於いて「バラ・その華麗なる輝き」と題して個人展覧会を開催した時点で総て昇華しきったかのように自覚し、至福の時も過ぎて頂きました。しかし妙事に、昨年秋から50才引退前の知人友人から興味深い事案が次々と提示される変な現象が生じました。その一つがフランス・パリのバガテル公園(世界一のバラ公園、バラ新種国際コンクール会場)オランジェリー内での「バラの写真展」の企画です。加えて当該事案に対しNHKからの取材等のお話しも有り、ご迷惑がからぬ内にご辞退する事が最良の道だと判断し、辞任をする事となりました。

在任中ご支援を頂いた方、心ならずもご迷惑をおかけした方、双方の方々に心から感謝とお礼を申し上げます。有り難うございました!

平成20年度吉備連合町内会役員

役員名	氏名
会長	木元 淳介
副会長(平野地区長)	未定
副会長(庭瀬地区長)	熊代 勉
副会長(撫川地区長)	未定
まちかど博物館担当理事	曾我 博之
環境衛生担当理事	宮田 信好
防災・防犯担当理事	西村 輝
電子町内会担当理事	坪井 慈朗
会報・講演・法律相談担当理事	求川 貞喜
ボランティア担当理事	重歳 妙
事務局	木元 淳介(兼務)
会計	次田 美千代
監査役	山本 宗男

まちかどスナッフ!



水道局仕切弁蓋

吉備学区連合町内会のホームページ



吉備学区 検索 www.town-kibi.jp

まちかどスナッフ!



木堂こみち案内板

平成20年度の予算内訳

